

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-012

PDCA	事務事業名	明るい青少年都市推進事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当	担当	鈴木	
					内線等	257241	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 4. 青少年健全育成					
		単位施策： (1) 青少年健全育成活動					
	根拠法令等	半田市明るい青少年都市推進本部設置規則					
	対象・目的	次代を担う青少年が心身ともに明るく健やかに成長するため、青少年健全育成活動を推進する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	青少年問題協議会で決定された基本方針に沿って、明るい青少年都市推進本部が家庭・学校・地域と連携して、街頭啓発活動や親子ふれあい事業などを実施する。また少年を守る会を始めとした青少年健全育成団体の活動を支援するため助成を行う。市内巡回を実施し、青少年の問題行動の早期指導により、少年の非行防止と被害防止に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①青少年問題協議会開催回数	2	2	2	回	
		②青少年健全育成活動補助金の交付団体数	29	27	25	団体	
		③青少年健全育成による街頭啓発活動回数	2	2	2	回	
		事業費	3,136	3,043	3,217	千円	
		人件費	1,586	2,811	3,726	千円	
		総事業費	4,722	5,854	6,953	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		①青少年問題協議会開催コスト	42	47	58	千円	
		成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位
	家庭・学校・地域・その他関係機関と連携をし、子どもが安心して健やかに成長できるよう地域ぐるみでの取り組みを実施し、青少年の健全育成を推進する。		実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	
	事業の評価・課題	B					
		明るい青少年都市推進本部が他の行政機関や家庭・学校・地域と連携して、街頭啓発活動を実施した。子ども110番の家に協力いただいている施設等に出向き、プレートの貼り換えをはじめ最近の地域の情報を共有しながら子どもたちの安全を見守った。 青少年健全育成活動補助金については見直しが必要。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		引き続き家庭・学校・地域のほか警察や関係機関と連携し、青少年の非行や犯罪を未然に防ぐ。社会情勢の変化による青少年の行動パターンに対応した施策を講じる。今後コミュニティスクールと情報共有をしながらさらなる発展を目指すとともに、青少年健全育成活動補助金の見直し等も行っていく。					
	令和2年度の目標	成果指標				目標値	単位
		家庭・学校・地域・その他関係機関と連携し、子どもが安心して健やかに成長できるよう地域ぐるみの取り組みを実施し、青少年の健全育成を推進する。					